

【5月の休館日】
1日(水) 7日(火) 14日(火)
21日(火) 28日(火)

毎月1日・毎週火曜日は休館です。

福智町図書館・歴史資料館 ふくちのち ふくちのち便り

開館時間 10:00-19:00 / 福智町赤池 970-2 / ☎ 28-2855



SINCE 2017.3
30万人達成!
来館者
多くのご来館ありがとうございます。
今後もスタッフ一同、頑張ります!
館長 井上憲治

ふくちのちイベント

- ◆書道作品展(彩の会)
5/2(木)~5/6(月)
- ◆おはなし会 乳幼児向け
5/2・16(木) 11:00-11:30
- ◆ぶらんこさんのおはなし会
5/4(土) 11:00-11:30
- ◆大人の折り紙教室
5/8(水) 10:10-12:00
- ◆上映会 大人向け
「最高の人生のつくり方」
5/11(土) 14:00-15:50
- ◆おはなし会 子ども向け
5/12・26(日) 14:00-15:00
- ◆上映会 子ども向け
「ふるさと再生 日本の昔ばなし」
5/18(土) 14:00-14:50
- ◆子どもの折り紙教室
5/25(土) 11:00-12:00

☎...要申込

人気急上昇!話題の時短レシピ 食育講座「おにぎらず」

「おにぎらず」は、乗せて・包んで・切るだけの3ステップで簡単に作ることができます。町の調理員・管理栄養士が、子どもも楽しめる食育講座を開催。事前予約が必要ですので、申し込みはお早めに。

日時▶ 5月11日(土)
① 11:00~12:00
② 13:00~14:00
定員▶ 先着各8人(要予約)
対象▶ 5・6歳~中学生
(低学年は保護者同伴)
参加費▶ 300円



PICK UP

エコな素材でオリジナルな雑貨を エコクラフトで作るかごづくり

エコクラフトを使ったワークショップを初開催。今回は小物などの収納に大活躍するかごを制作します。



子どもたちと本との出会いの場 全国訪問おはなし隊

全国47都道府県におはなしを届けるキャラバンカーが、たくさんの絵本を積んで福智町にやってきます!おはなし会も開催予定です。
集合場所▶ 1階 ものづくりラボ前

日時▶ 5月18日(土)
13:30-15:00
場所▶ 1階 ものづくりラボ
定員▶ 先着10人(要予約)
対象▶ 小学生以上
(小学3年生までは保護者同伴)
参加費▶ 500円



日時▶ 5月25日(土)
15:00-16:10
定員▶ 先着約20人(要予約)

新着本

旅行英会話フレーズBOOK
西東社編集部/編(西東社)

賢い子になる子育ての心理学
植木理恵/著(ダイヤモンド社)

いつも歌があった
南こうせつ/著(ヤマハミュージック
エンタテインメントホールディングス)

ホームベーカリーでいちばん
おいしい食パンレシピ
山崎豊/著(世界文化社)

妖怪一家の
ウェディング大作戦
富安陽子/作(理論社)

まる
松田奈那子/作・絵(鈴木出版)

ルルとララのおまじないクッキー
あんびるやすこ/作・絵(岩崎書店)

ジャックとまめのき
早野美智代/文(フレーベル館)

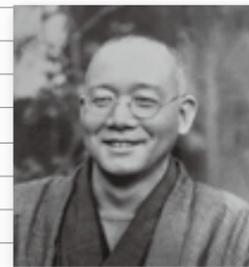
福智の風

▶ 今回の特集は人の動き。今までで一番多くの「人」が登場したかもしれません。編集で普段から意識する、紙面に「人」を出すということ。住民の笑顔が持つ温かみ、見慣れた顔を見つけることができるうれしさは広報紙ならではの楽しみです。より多く町の人を紹介する、そんな「身近な情報媒体」であることを大切にしたいと思います。(田代)

▶ みなさん、はじめまして。今年4月より広報・広聴係に着任した藤本と申します。「平成」が終わり「令和」という新時代を迎えた福智町の魅力を広報紙という媒体を介して、みなさんにお届けできることがすごく楽しみです。新時代の到来とともにスタートできることに意味があると信じて一所懸命に頑張ります。(藤本)

はあつた
福智の風
DATE: May.2019
NO: 009
●口語自由詩の礎を築いた

加藤 介春



福智の自然がはぐくんだ故郷の詩人かつて"新しい詩"の実現を目指し、口語自由詩運動を先導した加藤介春は、福智町草場に誕生。苦悩と葛藤の多い生涯の中、詩人・記者として人々に大きな影響を与え、日本の近代文学発展に貢献しました。

落の臺句会
夫亡きを知らずしきりに初音かな
池田 駒女
村鍛冶を孫に手ほどき卒業期
大井 良治
野鳥の愛秘めて青雲揚雲雀
木村 誠一
平成を平和に終へし汐まねき
千手 弘子
老農夫溜息ばかり菜種梅雨
高津 澄子
羽衣の天女は舞ひぬ春の夢
藤井耿之介
蒼天に笑顔返して犬ふぐり
山本ひろし
(氏名五十音順)

鬼杉赤池俳句教室
ひひなどち真夜は寢に酔ひしかも
建部三由紀
飢餓塚へ鎮魂赤し椿東風
長副美恵子
禪寺の葎酒許さぬ梅の門
松岡 蒿枝
霊峰に神の気配の朝がすみ
西田 真美
被災の地芽吹く命を授かりぬ
桂 啓子
水郷の潮来花嫁船は春
岩井 童子
春めくや少し化粧を厚くして
清原サヨ子
無住寺へ続く苔段風光る
二宮 正人
暖かや杖を頼りの五歩十歩
植木 千エ

はな俳句会
幸せとねむさも運び春の風
小五 西田 咲笑
地面から元気なお顔ふきのとう
小三 西田 芽生
東雲に予期せぬ初音佳き日とす
熊谷カツミ
鶯に訛りあるらし嘉麻郡
馬郡 京子
身のほどに合ふ日暮らしや母子草
大久保幸子
満開の梅を散らして送迎車
日高八重子
咲いて良しまた散るもよし桜かな
福島ソマ子
春の雨濡れて喜ぶ草木かな
井上サワ子
遠近に鳥のコーラス春満開
山田 花子

四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

レントゲン写真に写る透光を制御し患部を見つめすぎゆく
平成は瞬時にすぎしも三十年孫は家庭持ち二児の母なり
家毎に花を咲かせて穏やかに暮らしてあるらしシャッターの町
枯れしかと思ひてゐる藤の木に花芽の伸びぬ植そにし亡夫に知らせやうたし
縫いものに精出す娘見てをれば香き日のわれを想い出すなり
菜の花の咲く散歩道歩きつつ見あぐる桜の花吹雪受く
新らしき「令和」を迎える年となり激動の昭和・平成を想ふ
拡大鏡に「昭和万葉集」を読みてをり亡き先輩の歌教首のありて

ともしび短歌会短歌詠草